

事業所名

児童デイサービス シエスタ

支援プログラム (放課後等デイサービス)

作成日

2024 年

11 月

1 日

法人 (事業所) 理念		児童ファースト 社会性を育む							
支援方針		自立を育む手助け 将来を見据えた支援							
営業時間		平日	13 時	30 分	から	17 時	0 分	送迎実施の有無	あり なし
		休校日	10 時	0 分	から	16 時	0 分		
支援内容									
本人支援	健康・生活	健康状態の把握や生活習慣の確立を通して、心身の安定を図ることを目的とする。手洗い・うがい等の衛生習慣や、食事・排泄・睡眠などの基本的な生活リズムの形成を支援するとともに、衣類の着脱や持ち物管理などの生活スキルの習得を促す。また、スケジュールの理解や行動の切り替えなど、生活を主体的に管理する力の育成を目指す。							
	運動・感覚	基礎的な運動能力や身体の使い方の向上を図るとともに、感覚の特性に配慮した支援を行う。サーキット運動やボール遊びなどを通して体幹やバランス感覚を養い、はさみや箸の使用などの微細運動を促す。また、感覚遊びやリラクゼーションを取り入れ、触覚・前庭感覚・固有感覚の調整を図ることで、安心して活動に参加できる状態を目指す。							
	認知・行動	物事の理解力や判断力を育てるとともに、状況に応じた適切な行動の習得を目指す。スケジュールの提示や視覚支援を活用し、見通しを持って行動できるよう支援する。また、ルールの理解や順番を守る経験を通して自己コントロール力を育成し、困った場面では適切な対処方法を学べるよう働きかける。成功体験を積み重ねることで、望ましい行動の定着を図る。							
	言語 コミュニケーション	言語の理解力と表現力の向上を図り、他者との円滑なやり取りを目指す。指示理解や語彙の習得を促すとともに、気持ちや要求を適切に伝える力を育てる。また、絵カードやジェスチャー、アプリ、タブレット等の多様なコミュニケーション手段を活かし、安心して表現できる環境を整える。さらに、挨拶や会話のやり取りを通して、社会的なコミュニケーション能力の向上を支援する。							
	人間関係 社会性	他者との関わりを通して対人関係の基礎を育み、集団生活への適応を目指す。挨拶や返事など基本的な関わりを促すとともに、ルールのある活動や集団遊びを通して順番や役割の理解を深める。また、自他の感情に気づき適切に表現・調整する力を育て、トラブル時には適切な対処方法を学べるように支援する。安心して活動の中で成功体験を積み重ね、社会性の向上を図る。							
家族支援		保護者の不安や負担の軽減を図るとともに、児童の特性や関わり方についての理解を深められるよう支援する。連絡帳や面談などを通して日々の様子を共有し、家庭と事業所が連携した一貫性のある支援を行う。また、子育てに関する相談対応や具体的な関わり方の助言を行い、家庭での支援力の向上を目指す。さらに、必要に応じて関係機関や制度の情報提供を行い、安心して子育てができる環境づくりを支援する。			移行支援		進学や就労などのライフステージの変化に円滑に適応できるよう支援を行う。新しい環境への見通しを持てるよう事前説明や体験の機会を設けるとともに、生活スキルや社会性の向上を図る。また、学校や就労支援機関、相談支援専門員等との連携を通して情報共有を行い、切れ目のない支援体制を整える。本人および家庭の不安に寄り添いながら、安心して次のステージへ移行できるよう支援する。		
地域支援・地域連携		関係機関との連携を通して一貫した支援体制を構築し、児童が地域の中で安心して生活できる環境づくりを目指す。学校や相談支援専門員、医療・福祉機関との情報共有を行い、支援方針の統一を図るとともに、地域資源を活用した活動を通して社会参加の機会を広げる。また、将来の就学・就労を見据えた連携を行い、切れ目のない支援を提供する。			職員の質の向上		研修やケース検討を通して専門性の向上を図るとともに、支援の質の均一化とチームの強化を目指す。内部研修や外部研修に参加を促し、障害特性や支援技術に関する知識の習得を進める。また、日々の支援の振り返りや情報共有を徹底し、適切な支援方法の見直しを行う。更に、倫理意識の向上や虐待防止の取り組みを推進し、安心・安全な支援体制の構築に努める。		
主な行事等		季節の行事や外出活動、体験活動を通して、児童たちが楽しみながら多様な経験を積める機会を提供する。四季折々の行事や地域資源を活用した活動を取り入れ、社会性や協調性の育成を図るとともに、成功体験や達成感を味わえるよう支援する。また、安全面や個々の特性に配慮しながら、安心して参加できる環境づくりに努める。							